

# 宍道湖流入・流出水調査月報

(平成13年5月期)

## 水質概要

5月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層19.3、中層18.6、下層18.4)に比べて若干高い変動であった。図1に示すように、5月の水温変動は16~22で変動しており、下旬に向かうにつれ徐々に水温上昇が見られた。また、水深による顕著な差異は見られなかった。高塩分流入時に中層・下層の水温の下降が見られた。

5月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層8.0psu、中層11.6psu、下層14.3psu)に比べて、上層、中層、下層ともにほぼ平年並の変動であった。また、5月においては15psu以上の高塩分水の流入は12日観測された。5月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係が見られた(図2参照)。

5月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに5.9~4.4mg/lと高い溶存酸素濃度の変動が見られた(平均値:上層5.9、中層:4.3、下層:4.4mg/l)。顕著な貧酸素水の流入は、5月17日から22日かけて見られた。図1に示すように、15psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。なお、5月23日~31日は、機器メンテナンスのため欠測しております。

表1 5月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		( )	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	17.4	5.2	6.8
	中層	17.4	6.2	5.6
	下層	17.3	5.8	5.9
中旬	上層	20.6	8.3	5.4
	中層	19.8	15.7	3.1
	下層	19.5	15.4	2.8
下旬	上層	22	7.1	4.7
	中層	21.8	9.8	4.1
	下層	21.6	9.6	4.3
月間平均 (5月)	上層	19.4	6.8	5.9
	中層	18.9	10.8	4.3
	下層	18.7	10.5	4.4

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

## 水質

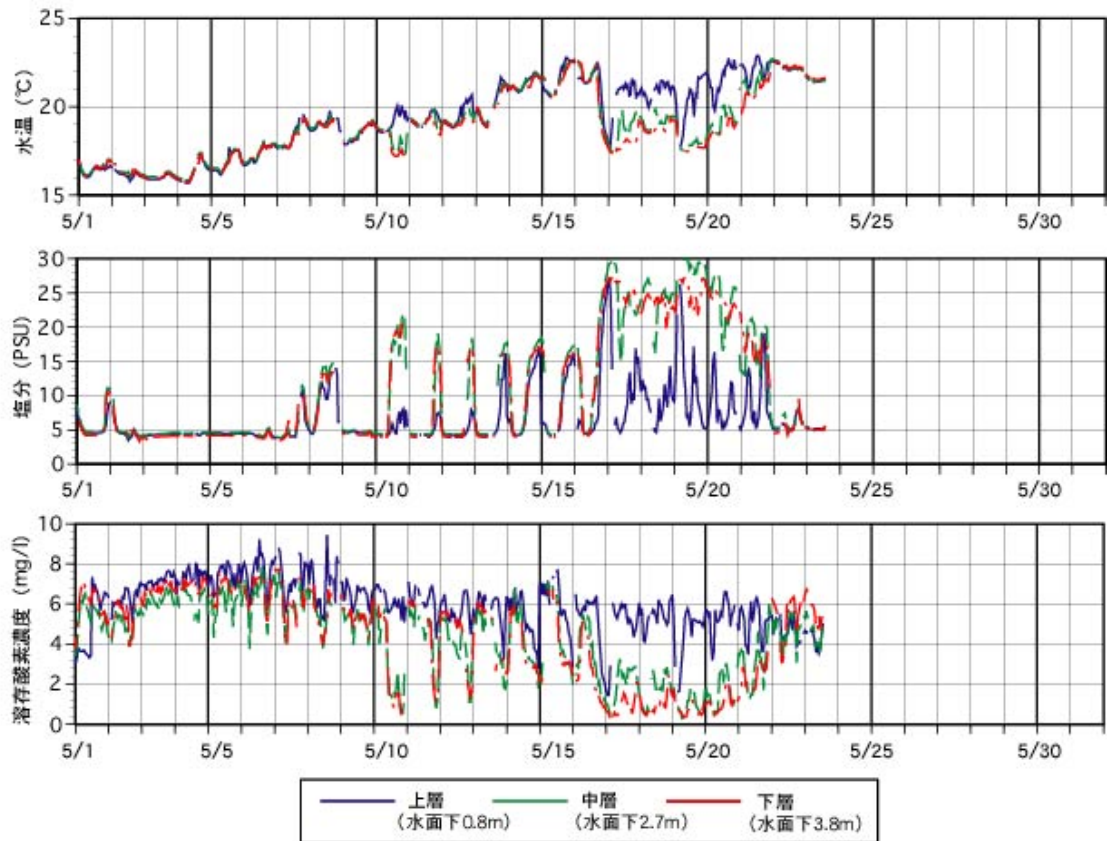


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

## 気象概況

5月は、表2に示すとおり、平均気温18.4（平年値17.1）であり、ほぼ平年並の変動であった。図2に示すように、5月の顕著な気圧変動は、急激な低下が見られなかったのが特徴であり、全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1008.4hPaは、平年値（平年値1012.0hPa）と比較して若干低かった。表2に示すとおり、5月の日射量は、0.0844MJ/m<sup>2</sup>であり、4月と比較して低い値を示していた（4月平均値：0.1091MJ/m<sup>2</sup>）。5月の風向・風速は、平均風速2.8m/sec（平年値3.4m/sec、西風）であり、平年並であった。

なお、5月23日～31日は、機器メンテナンスのため欠測しております。

表 2 5月期の気象概要

	気温 ( )	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m <sup>2</sup> )
上旬	16.8	1008.5	2.5	南南東	0.0803
中旬	19.5	1009.8	3.1	南西	0.0937
下旬	20.6	1003.1	2.5	東南東	0.0639
月間平均 (5月)	18.4	1008.4	2.8	南	0.0844

( 平年値は、平成 13 年気象の暦 ( 山陰版 ) ( 財 ) 日本気象協会中国センターより引用 )

( 表中の数字は、平均値を示す )

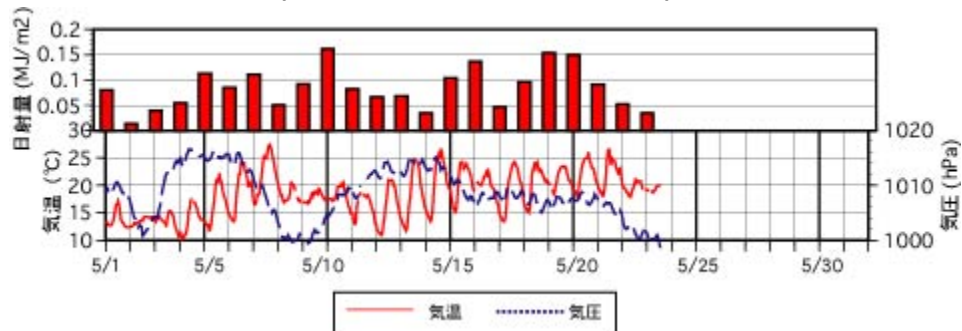


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

### 流況

5月の平均流速は、上層 14.9cm/sec、中層 11.3cm/sec、下層 10.5cm/secであった。5月の東方流速は、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。また、5月21日～23日にかけては中海から宍道湖へ向かう流れが卓越していた。

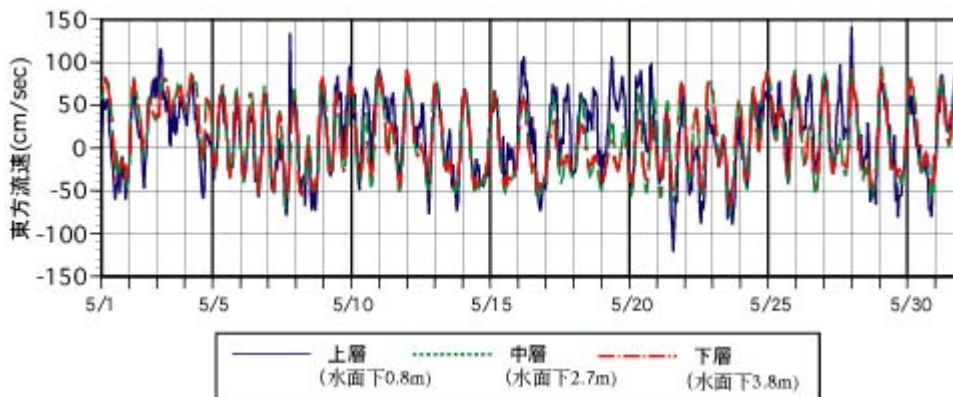


図 3 東方流速の時系列変化